

平成30年第3回（9月）富田林市議会定例会の報告について

| 質問者 | 質問の要旨 | 資料/担当課 |
|------------------------------|---|----------------------------------|
| 公明党 代表質問 村山 理恵 議員 | 1. 未来への希望を育む子育て・教育 (1) 小学校普通教室のエアコン設置を求めて ① 本市における「学校施設環境改善交付金」のこれまでの活用実績と今後活用が計画されている施策について ② 小学校全普通教室にエアコンを設置するための概算費用と早期設置の実現を求めて | 資料1/ 教育総務課 |
| | (2) 屋内運動場（体育館）のトイレを洋式化することについて | 資料2/ 教育総務課 |
| | (3) 小中学校の通学時の荷物の軽量化を求めて ① 児童生徒の通学時の荷物が重すぎる事から、健康に異常をきたす前に、持ち物の軽量化の工夫してはどうか | 資料3/ 教育指導室 |
| | 2. 支え合いを育む福祉コミュニティづくり (1) 本市のひきこもり対策事業について ① 事業の現況と、今後の課題について ② 高齢世帯における家族のひきこもりなどに、アウトリーチで相談につなげる体制を求めて、 | 資料4/ 生涯学習課 |
| | 3. 生涯を通じた学びの推進 (1) 図書館サービスの充実について ① 子どもたちの学び心をくすぐる「おもしろ図鑑コーナー」を設置してはどうか ② 寝そべることができるなど自由な子どもコーナーや快適な大人の居場所などにリノベーションすることを求めて | 資料5/ 図書館 |
| とんだばやし未来 代表質問 辰巳 真司 議員 | 2. 小学校の普通教室および幼稚園の保育室にエアコン設置を求めて | 資料6/ 教育総務課 |
| | 3. 富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針（素案）について (1) 概ね5年の期間で、単なる廃止（スクラップ）になっていないか (2) 保育所での待機児童の解消を、なぜ認定こども園の開設で図らないのか (3) 現状と課題では、市立幼稚園の取り組みの評価がないことについて (4) 市立幼稚園の再配置方針には、交通手段としてスクールバスの整備を (5) 幼稚園の廃園後の跡地利用についての見解を | 資料7/ こども未来室 教育指導室 |
| | 5. 本市の魅力を活かすまちづくりを (1) 秋祭りのだんじり文化を町の活性化につなげる方策について | 資料8/ 生涯学習課 文化財課 都市魅力創成課 |
| | 7. 学校給食のアレルギー対応について (1) 本市での学校給食のアレルギー対応の現状について (2) 献立でたんぱく質のローテーションや咀嚼の重要性を教えるなど職員の負担の少ない部分を取り入れてはどうか | 資料9/ 学校給食課 |

| 質問者 | 質問の要旨 | 資料/担当課 |
|-----------------------------|---|--------------------------|
| 日本共産党 代表質問 田平 まゆみ 議員 | 1. 猛暑対策、熱中症対策について (1) 小学校普通教室、幼稚園保育室へのエアコン設置を求めて | 資料 10/ 教育総務課 |
| | (2) 教育現場における暑さ対策について ① 市長及び市教育委員会は、教育現場に出向き、授業風景の参観、室温調査、暑さ指数計測、児童生徒・保護者への聴き取り調査などを行ったか ② 今後の調査などの計画について ③ 上層階ほど温度が高い傾向、西日でカーテンを閉め切らないといけない状況、暑さ等によるトイレ周辺の異臭などの問題について、把握をしているか。また、対策について聞く ④ 水を自由に飲めるよう、リース式のウォータークーラーなどの水分補給対策の検討について | 資料 11/ 教育総務課 教育指導室 |
| 自由民主党 代表質問 林 光子 議員 | 2. さまざまなモノをインターネットにつなぐ「IoT」や「AI」(人工知能)など先進技術を活用した未来へのまちづくり (1) 学校教育における「IoT」や「AI」に関する教育の取り組みについて | 資料 12/ 教育指導室 生涯学習課 |
| 改革市民クラブ 代表質問 伊東 寛光 議員 | 6. 本市の教育と教育環境の整備について。 (1) パラリンピックを通じて障がいに対する理解を深める教材である、「I'M POSSIBLE」の活用状況について。 | 資料 13/ 教育指導室 |
| | (2) マルチメディアデイズ教科書の活用状況について。 ※現場が活用しやすいように、タブレット端末等、環境を整備してはどうか。 | 資料 14/ 教育指導室 |
| | (3) 小学校の普通教室等へのエアコン設置を、早期に実現すべきではないか。 | 資料 15/ 教育総務課 |
| | (4) 全国学力・学習状況調査について。 ① 結果をどのように捉え、どのような対策を行い、どのような効果が出ているのか。 ② 「本市の課題改善に向けた取り組みについて」が公表されているが、漠然としすぎているのではないか。 ※もっと詳細な分析と課題改善に向けた取り組みについて、公表してはどうか。 (5) チャレンジテストについて。 ① 結果をどのように捉え、どのような対策を行い、どのような効果が出ているのか。 ② チャレンジテストも、「本市の課題改善に向けた取り組みについて」のような公表をしてはどうか。 ③ 同一生徒の経年比較ができる利点を、どのように活用しているのか。 (6) 「箕面子どもステップアップ調査」を参考に、子どもたち一人ひとりの学力や体力、生活の状況を経年比較で把握・分析できる制度を導入してはどうか。 | 資料 16/ 教育指導室 |

| 質問者 | 質問の要旨 | 資料/担当課 |
|--------------------------------------|--|------------------------|
| <p>改革市民クラブ 代表質問 伊東 寛光 議員</p> | <p>7. 安全・安心な給食を、安定的に提供するために。</p> <p>(1) 給食の遅延、食器等の汚れ、食缶等の汚れ、異物の混入、食器等の数量不足、提供した給食の数量不足、その他、衛生管理上の問題など、給食に関するトラブルの発生状況について。</p> <p>(2) 学校給食関係者に「安全な給食を提供する」という考え方が全く無いように見えるが、執行部の見解を求める。</p> <p>① 中皿に血が付着していた件について。</p> <p>② ノロウィルスへの感染を疑うべき状況にあった富田林学校給食株式会社の職員が、6月20日に調理業務にあたった件について。</p> <p>③ 学校配膳員が校内で嘔吐した者の食器を消毒せずに回収し、洗浄した件について。</p> <p>(3) 議会に迅速かつ「正確な」情報提供をしないのは何故か。 ※学校給食課が平成30年6月27日に提出した資料には「調理員」と記載されているが、調査依頼をして提出された資料では「栄養士」と記載されているが、何故か。</p> <p>(4) 安全・安心な給食を提供するために必要なことは何か。</p> <p>① 栄養士が何人居たら、安全・安心な給食を提供できるのか。 ※そもそも栄養士の数の問題ではないと考えるが、執行部の見解を求める。</p> <p>② 給食関係者の意識が低いのが根本的な問題なのではないか。</p> <p>③ 学校配膳員を本市が直接雇用する必要性について。 ※富田林学校給食株式会社が雇用する方が良いのではないか。</p> <p>(5) 学校給食株式会社に調理を委託する必要性は無いと考えるが、執行部の見解を求める。</p> | <p>資料17/ 学校給食課</p> |
| <p>個人質問 吉年 千寿子 議員</p> | <p>2. 小中学生のヤングケアラーに対する支援について</p> <p>(1) ヤングケアラーの現状把握について</p> <p>(2) ヤングケアラーへの対応について</p> <p>(3) ヤングケアラーへの支援に対する行政間の連携について</p> <p>(4) ヤングケアラーに対する情報共有と啓発について</p> <p>① 教職員への研修について</p> <p>② 授業の中での児童生徒への問題提示について</p> <p>③ 市民向け講演会の開催について</p> <p>(5) ヤングケアラーの実態調査について</p> | <p>資料18/ 教育指導室</p> |